

---

# 生産性福岡フォーラム

株式会社グッデイ  
代表取締役社長 柳瀬 隆志

---

---

## 生産性とは？

$$\text{生産性} = \frac{\text{アウトプット}}{\text{インプット}}$$

---

## 生産性向上の為にすべき事

インプット(時間、人、原材料 etc.)を極力少なくし、より多くのアウトプット(成果物、売上、製品 etc.)を得られるようにするべき。

---

---

# デスクワークにおける生産性

事務処理の大半は、データの処理を行っている



元となるデータ・情報

集計・加減乗除 etc.

帳票、ダッシュボード、  
表、グラフ、etc.

---

---

# データ処理の例

- 各種調査レポート

国勢調査、コロナ感染者数、戸籍管理など

- 経営管理

財務諸表、各種KPI管理etc.

---

---

# データ処理の省力化、自動化がポイント

生産性向上の為には、極力人手によるデータ入力、処理の時間を減らし、望む正確なアウトプットを素早く得られるかが重要。

⇒IT活用による生産性向上を目指す

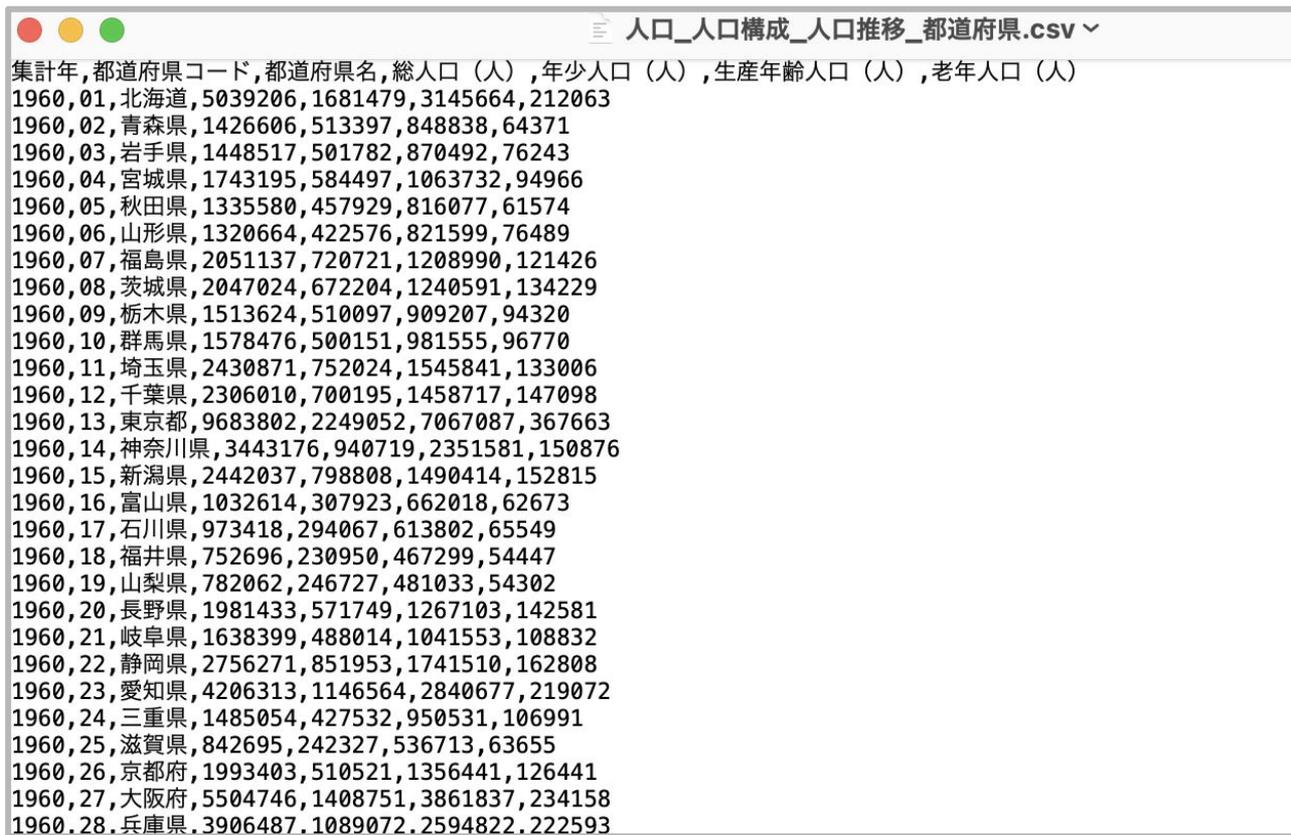
---

---

# データ処理の例

---

# 元データ(都道府県別人口データ)

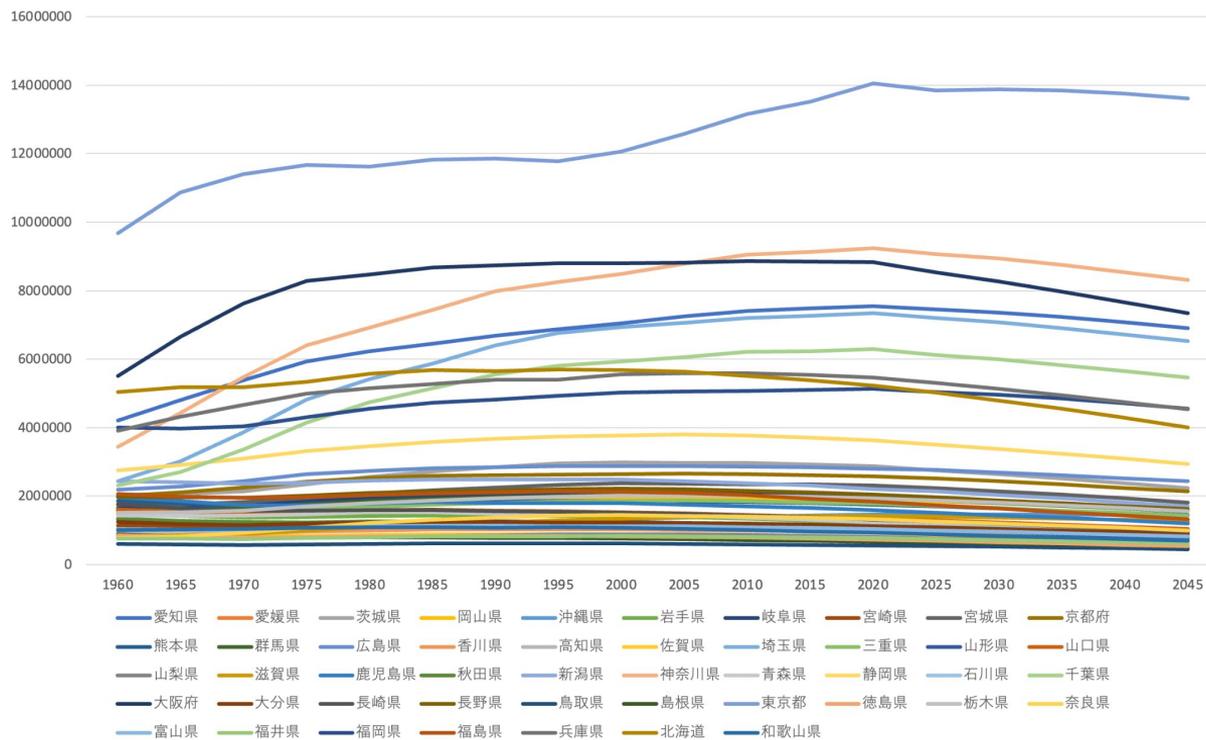


人口\_人口構成\_人口推移\_都道府県.csv

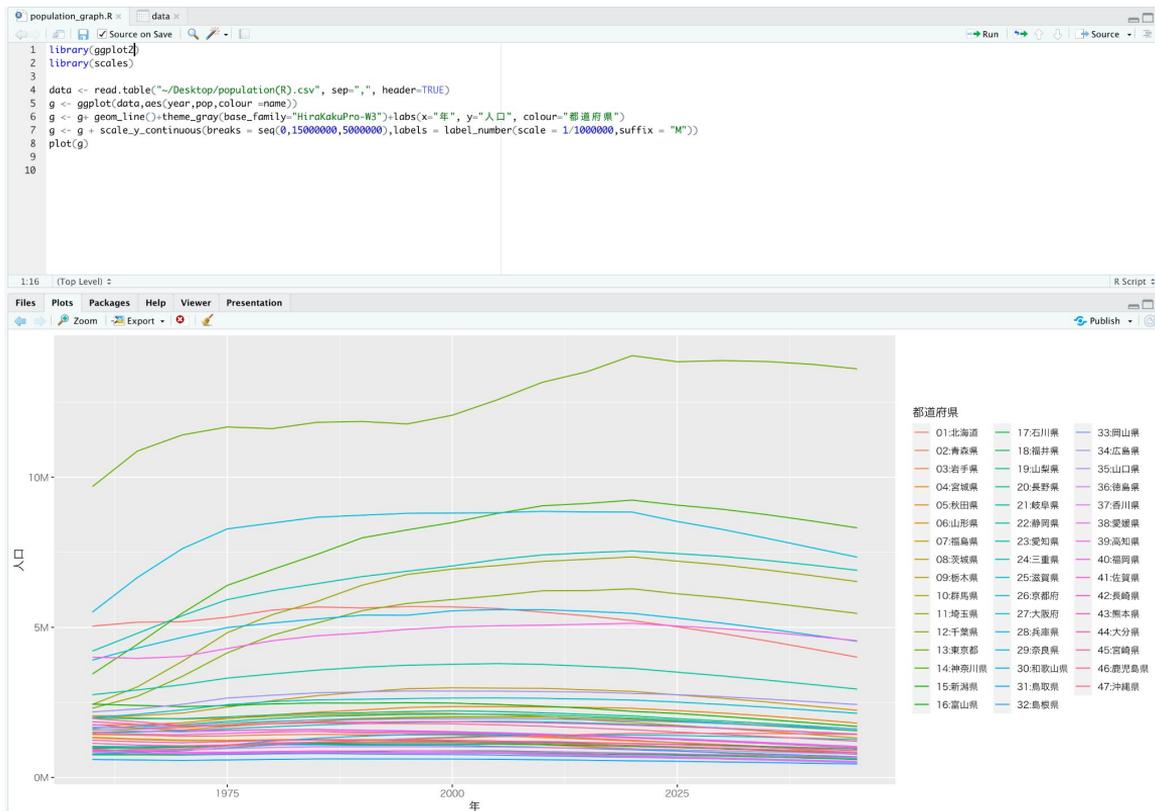
集計年	都道府県コード	都道府県名	総人口(人)	年少人口(人)	生産年齢人口(人)	老年人口(人)
1960	01	北海道	5039206	1681479	3145664	212063
1960	02	青森県	1426606	513397	848838	64371
1960	03	岩手県	1448517	501782	870492	76243
1960	04	宮城県	1743195	584497	1063732	94966
1960	05	秋田県	1335580	457929	816077	61574
1960	06	山形県	1320664	422576	821599	76489
1960	07	福島県	2051137	720721	1208990	121426
1960	08	茨城県	2047024	672204	1240591	134229
1960	09	栃木県	1513624	510097	909207	94320
1960	10	群馬県	1578476	500151	981555	96770
1960	11	埼玉県	2430871	752024	1545841	133006
1960	12	千葉県	2306010	700195	1458717	147098
1960	13	東京都	9683802	2249052	7067087	367663
1960	14	神奈川県	3443176	940719	2351581	150876
1960	15	新潟県	2442037	798808	1490414	152815
1960	16	富山県	1032614	307923	662018	62673
1960	17	石川県	973418	294067	613802	65549
1960	18	福井県	752696	230950	467299	54447
1960	19	山梨県	782062	246727	481033	54302
1960	20	長野県	1981433	571749	1267103	142581
1960	21	岐阜県	1638399	488014	1041553	108832
1960	22	静岡県	2756271	851953	1741510	162808
1960	23	愛知県	4206313	1146564	2840677	219072
1960	24	三重県	1485054	427532	950531	106991
1960	25	滋賀県	842695	242327	536713	63655
1960	26	京都府	1993403	510521	1356441	126441
1960	27	大阪府	5504746	1408751	3861837	234158
1960	28	兵庫県	3906487	1089072	2594822	222593

# 1. Excel

都道府県別人口推移



## 2. プログラミング (Rの例)





---

## 目的に合わせた使い分け

- 出来るだけ作業を軽減しつつ、目的に合わせた方法を選べるようにする
  - Excel以外の方法も知っておき、自動化・効率化を進める
  - 「システム構築」までは至らない小さいタスクを効率化する
-

---

## 「DX」の目的を明確に

「DX推進」のスローガンを掲げるだけでなく、具体的にどのような技術、ツールを使って、何を効率化するのかを経営目線で判断することが重要。

過剰投資になることなく、必要な手法を見極められる「目利き力」も求められる。

---

---

終

---